



2025年シーズン登板時

©ORIX Buffaloes



守口市役所にて

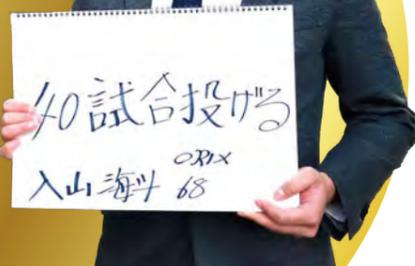


教え子の活躍を期待して応援にかけつけた石場先生(写真左)と西川先生(写真右)。

子どもたちへメッセージ

いっぱい練習して
野球を楽しんでほしい!

今年の目標!
技術面をしっかりと
伸ばしていきたい!



令和7年2月号 広報もりぐち

育成選手時代にインタビューしています。幼少期のことからプロ入団までの軌跡、その時の思いなどを掲載しています。こちらも合わせてご覧ください。(5~7ページ)



魅力創造発信課 TEL 06-6992-1353

育成選手から支配下へ 目標に向かってあきらめず、夢をつかむ

2023年からオリックス・バファローズの育成選手となり、3年目の2025年7月に支配下入りを果たした入山海斗選手。1軍の中継ぎ投手として登板し、昨シーズンにプロ初勝利を挙げた報告のため市役所を表敬訪問。また、小学校の担任であった西川先生と石場先生とサプライズ再会し、今後の目標や現在の思いを改めて語りました。

※支配下(登録選手)…プロ野球の1軍公式戦に出場可能な70人までを上限とする1軍・2軍選手のこと。

オリックス・バファローズ 入山海斗 Iriyama Kaito



プロフィール

2000年5月26日生まれ、守口市出身。市立八雲東小学校、市立第一中学校、和歌山県立日高高等学校中津分校、東北福祉大学 卒業。小学校3年時に八雲東スポーツ少年団に入団し野球を始める。中学生のときは守口シニア(硬式野球チーム)で主に外野手を務め、高校生から本格的に投手に専念。大学では自己最速154キロを計測。2022年オリックス・バファローズより育成選手ドラフト3位で指名を受ける。2025年支配下登録。一軍で15試合に登板しプロ初勝利と初ホールドを記録。最速150キロを超えるストレートが魅力。右投右打 背番号68

2025.8.26
プロ初勝利時

©ORIX Buffaloes

支配下入りの要因

入山選手は、「自分でもびっくりした。絶対支配下になったる!」と思っていたけど、結果などをみても僕じゃないかと思って、「少し不思議そうに語りました。」

しかし、その言葉とは裏腹に、一軍のマウンドでも150キロを超えるストレートを武器に打者を圧倒する強気のピッチングでプロ初勝利も記録するなど存在感を示しました。「支配下になったからにはチャンス

昨年シーズンを振り返る

「スランプ続きの野球人生の中で、あきらめずに一軍で投げられたことは最高だった。野球がまた楽しくなってきた」と安堵の表情を浮かべました。勝つために必要なのは、抑えることとメンタル維持。

気持ちがあふわわしているときは打たれることが多く、逆に集中している

だと思ってこれからも思いっきりやりたい」と入山選手は意気込みます。

ときは、周りの音が遠く感覚になると言います。

「自分の1球で勝負が決まる。そんな場面に立つ覚悟と責任を持ってることがすごい」と西川先生は感心した表情で話します。

また、プレッシャーの跳ね返し方を尋ねると、「やるしかない。落ち込んでいる暇はないし、何が悪かったのかを考えて、すぐに切り替えるようにしている。以前はただやっただけで何も考えてなかった。今は少し考えられるようになったかな」と入山選手は振り返りました。

子どもたちに向けて

入山選手の言葉を受け、先生方は、「あきらめないこと」迷ったときやしんどくなったときに、違う方法でアプローチすることとして、基礎をしっかりと身に付けた上で嫌なことから逃げず、努力を積み重ねていくことを子どもたちにも伝えていきたいと話していました。

皆さんの応援を力に、次なる目標へと進む入山選手。今後の歩みに、引き続き注目してください。

「ちょうど試合を見に行ったときに、活躍を見ることができてうれしかった」と笑顔の西川先生に対し、最初は「覚える?」と少し不安そうな石場先生でしたが、まるで小学生の頃に帰ったかのような和やかな雰囲気でお話が始まりました。

小学生の頃はとても細くスラっとしていたという入山選手。文字通り「大きく」立派に成長した教え子の姿を前に「凛々しいのに顔はそのまま」と当時の面影を浮かべ、我が子を見るような誇らしげな眼差しを向けていました。

石場先生は「プロ野球選手になれるのはほんの一握りで、その一人がこの守口市にいること、夢をつかみ、それを実現した人が本当にいるということが、誇らしい」と胸を熱くして語りました。また、「プロ野球選手になりたくてもなれないという子もいるけれど、頑張れば叶う」と子どもたちに話せる。守口の子どもの憧れになったね」と西川先生も続け、恩師からの賛辞に、入山選手は少し照れた表情を浮かべました。

昨

年のインタビューに比べ体付きが大きくなった印象の入山選手。約1年で10キロ増の体づくりに励み、努力を惜しまない姿がよく表れていました。この日サプライズとして来てもらった小学校時代の担任の先生方に驚き、「びっくりした」と顔を少し赤くしながら部屋に入ってきました。